

小泉製麻グループの今を読む

KTIMES

Vol.008

To the
Future!

1995.1.17の阪神淡路大震災から25年。
小泉製麻グループは未来に向かって歩み続けます。

2020



1995



新商品紹介

Baronモッコ **除雪用**

BARONMOKKO

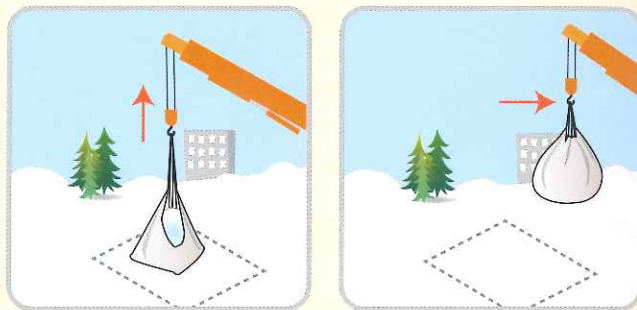
広げたシートに堆積した雪を重機で吊上げ排雪作業

豪雪地帯では特に冬場の除雪作業は重労働です。除雪車が入ることができない駐車場や工事現場での除雪作業の効率化のためのシート、「 Baronモッコ(除雪用)」を発売いたしました。従来品同様、石や木材などの運搬はもちろんのこと、今回発売した除雪用のモッコは生地に工夫がしてあり、堆積した雪が滑りやすくなっています。

使い方は、積雪のありそうな前日に、除雪したい場所に Baronモッコを敷くだけ。翌日雪の積もったシートを重機などで撤去します。狭い場所でも2.9m×2.9mとコンパクトで使いやすいのも魅力です。



■ Baronモッコ(除雪用)による除雪作業例



■ 規格

サイズ	約2.9m×2.9m
色	本体:黒色 / ベルト:ベージュ色
最大荷重	1000kg未満
材質	ポリプロピレン

隠れたロングセラー

Baron愛菜 NEO

露地野菜のための被覆資材

前身である「 Baron愛菜」の発売から20年以上のロングセラー商品です。寒くなる冬場の時期には霜よけや保温対策として多く使われています。

兵庫県の淡路島の特産品でもあるレタスにも使われています。ご使用頂いている方のお話によると、「両端に強度があるハトメ代わりのような耳を付けてあるのがいい!」と評価されています。シーズンは冬場です。今年も農家の方達のお役に立てればと思います。

BARON AISAI NEO



1997年に新しい製織技術と素材で開発された Baron愛菜は、野菜を優しく被覆して生育を促進し、農家の方々に末永く愛されるように名付けられました。保温性や透光性、軽くて丈夫な被覆資材として、農家の方に永く愛されています。

新提案紹介

防草モルタルAS (仮称)

MORTAR AS

施工性・安定性に優れ、隙間からの雑草をシャットアウト

防草シートの敷設部分に支柱などの構造物がある場合、シートに切れ込みを入れテープ等で隙間を作らないようにするのが一般的でした。この方法では施工手間がかかり、隙間の処理が十分ではないと、将来的には雑草が繁茂することが予想されます。

防草モルタルは現場で容易に成型できるため施工性に優れています。また、従来の合材と違い収縮率が1%程度の為、安定性があり、隙間から生える雑草をシャットアウトします。



従来の隙間処理では雑草が繁茂しやすい



支柱際の穴埋めにも使用可能

新商品紹介

グラベルペーパー

GRAVEL PAVER

敷くだけの簡単施工で 誰もが通りやすい砂利道に お庭やアプローチ、駐車場に！

防草方法の1つとしての碎石砂利敷は、雰囲気の良いことで多く使われていますが、碎石砂利だけを地面に敷いた場合、砂利が流出したり、轍ができたり、結果雑草が生えてきてしまうことがあります。

碎石砂利の流出を抑制するため方法として砂利固定材を使う方法がありましたが、従来の砂利固定材では路盤と碎石砂利層のセパレート用に不織布や防草シートの敷設を行っていました。新製品グラベルペーパーは不織布と砂利固定材が一体化、またロール状になっているので、組み立て時間や作業工程が短縮できます。軟弱地盤上にグラベルペーパーで碎石砂利を敷くと轍掘れや不等沈下の抑制効果も期待できます。2種類のアイテムを組み合わせ簡単施工を実現させました。



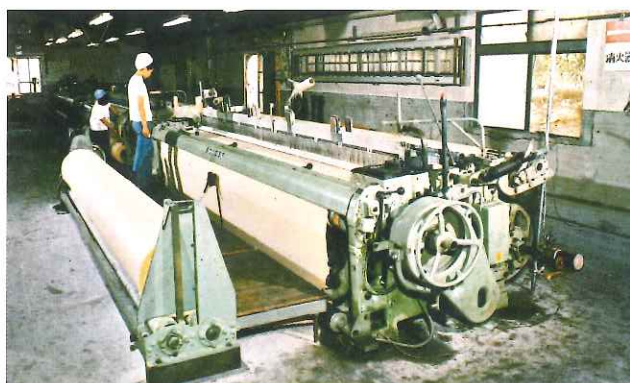
小泉グループはじまりの話 ~VOL.8~

昭和30年代後半はジュート紡機の近代化や生産工程の合理化に努めました。一方、世界情勢をみると、開発途上国の産業振興のため輸入関税の引き下げが行われてジュート製品はインドなどから大量に輸入されることとなり、日本でも早晩ジュート製品は輸入品によって占められることが予想されました。当社は昭和30年前半からはじ

めたジュート紡績の工程に近い太番手化合織紡績に注目し、漸次設備を増強して、需要に対応しました。またそれぞれの分野で協力工場が数社ありました。そのなかで昭和35年にジュート織布を目的に岸和田に設立されたのが和泉麻工業で、現在では当社の岸和田工場として化成品の開発・生産に従事しています。



創業期の
岸和田工場



バロンクロス生産
超広巾機械



🔴 ボウリング場の知られざるお仕事 メカニックとオイルパターン

ボウリング場にも日々マシンやレーンの整備、点検をするメカニックスタッフがあります。メカニックスタッフは、ボウリングのスコアを左右するレーンのコンディションも作ります。ボウリングのレーンにはオイルが塗られており、そのオイルの塗り方によって球の走りや転がり方が変わります。選手はレーンのオイルコンディションと自分の球質、それに合ったボールを選択し、どのラインで投げるかを判断して投球します。大会で勝つためには、技術的な要素もさることながら、オイルコンディションの攻略が鍵

を握っていると言ってもいいくらいです。神戸六甲ボウルでは、月ごとにオイルパターンを変えて、スポーツ志向のお客様に楽しんでいただいています。メンテナンスマシンを使ってコンディションを作りますが、パターンを考え、よいレーンを作るのも人の技術です。みなさんも、スポーツボウリングの魅力の扉を開けてみませんか。

メンテナンスマシン▶



K TIMES Vol. 008 発行元:K TIMES 制作委員会

■ 株式会社小泉ビジネスソリューション
■ 株式会社グランド六甲

■ 小泉製麻株式会社
■ 入船株式会社

■ 株式会社サザンモール六甲

2019年12月発行

神戸市灘区新在家南町1丁目2番1号 TEL:078-841-4141(代)

▲ 小泉製麻グループ